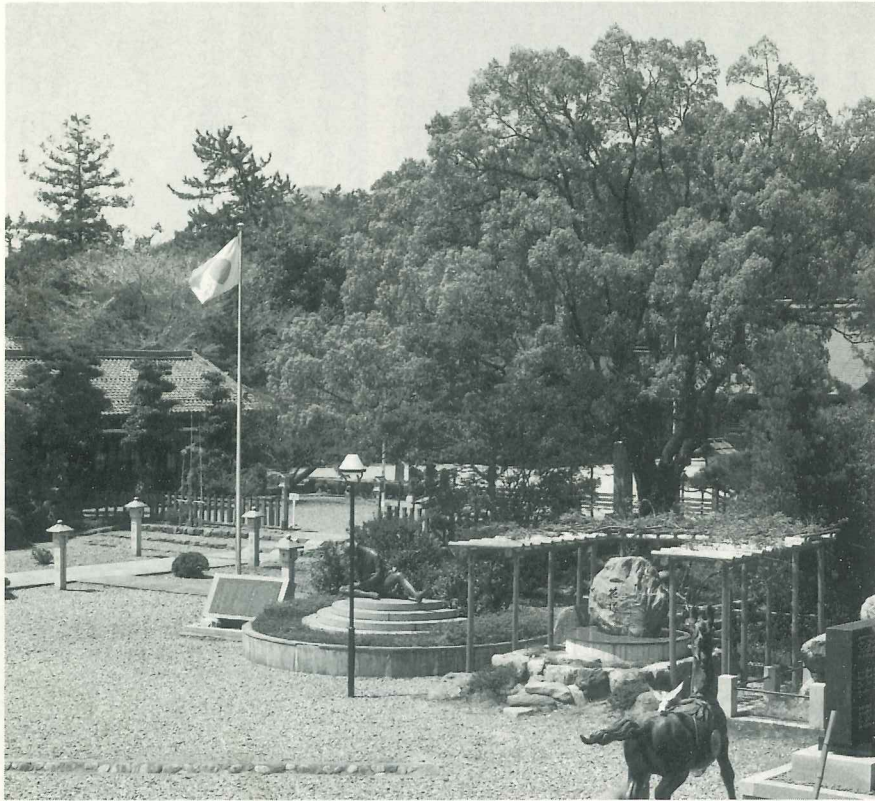


# 沙沙那美

滋賀縣護國神社  
社 報  
發 行 所

滋賀縣護國神社社務所  
〒522 彦根市尾末町1番59号  
電話0749(22)0822  
印刷 田中印刷所



## 宮司退任の

### ご挨拶

名誉宮司 山本 浅次郎

四十六年の永きに涉り滋賀縣護國神社に御奉仕致して参りましたが、本年満九十歳の齡を重ね、加えて近年体調の不調を覚えます故、御奉仕に粗相有つては申し訳なしと存じ、此度(兼務、松原町春日神社、大藪町神明神社をも)辞任させて頂く事と相成りました。思えば永らくの間御指導、御鞭撻、御交誼を賜りました事を深く感謝し厚く御礼申し上げます。

尚、後任宮司には瀬宜山本賢司が就任致す事と相成りましたので、倍旧の御支援を賜ります様伏して御願ひ申し上げます。

尚又、此度神社本庁より名誉宮司の称号を授与されましたことを申し添えまして御挨拶と致します。

## 名誉宮司

### 横 顔

明治三十四年五月四日生。

大正十二年京都皇典講究所卒。

京都豊国神社、大阪天満宮に奉職後、

昭和二十年滋賀縣護國神社に奉職し、

社掌、瀬宜を経て四十年宮司に就任。

松原町春日神社、大藪町神明神社宮司

を兼務。

県神社庁彦根市支部長、祭祀委員、

理事、神社本庁参与、全国護國神社会

近畿地区幹事、京都国学院理事、同窓

会長等を歴任。

昭和三十九年県神社庁表彰、神職身

分二級、四十九年同二級上に昇進。五

十年昭和天皇・皇后両陛下下行幸啓の御

砌り御先導申し上げる。五十三年神社

本庁表彰。五十六年宮中御歌会始の儀

陪聴。同年浄階並身分一級に昇進。

### その他

三十五年より四十二年まで民生委員。

彦根金亀ライオンズクラブ会長、ゾー

ンチェアーマンを歴任する。同会チャー

ターメンパー。

趣味の謡曲は師範級であり、書家として

しても定評がある。

# 就任のご挨拶

宮 司 山本賢司

今般山本浅次郎宮司が辞任され、私  
が宮司を拝命することになりました。  
もとより浅学非才の身であり、皆様方  
のご支援ご協力を切にお願い申し上げ  
ます。



さて、新宮司就任ということで四月  
半ば、京都新聞の取材を受けました。  
簡単なインタビュー記事でしたが、そ  
の際に年令を尋ねられ、満四十三才を  
告げますと、即座に「宮司さんではお  
若い方では」と。宮司として、とい  
うより正確には護國神社の宮司として  
は、確かに若輩でしょう。特に前宮司  
が年令は申すに及ばず、神職歴、見識  
共に貫禄十分であった為、余計にそう  
映るのかも知れません。

小生は戦後のベビーブームに生を享  
けた、所謂団塊の世代の一人です。昭  
和から平成に移った今日、この世代も  
次第に社会の中核の位置を占め、指導  
的立場に立つようになりましたが、人  
生経験の豊かさが求められる神社界に  
於ては、まだまだ未熟者であります。  
それだけに、現実が厳しいものである  
ことは十二分に認識しているつもりで  
す。ましてや凡庸を自認している小生

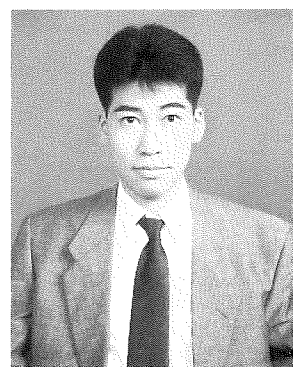
とっては、今後共、以前にも増して  
不断の努力をするしかありません。し  
かし、長丁場ですから、肩凝らせて、  
魄を決してということではなく、自然  
体を心掛けたいと存じます。

また、その取材の折、宮司としての  
抱負を聞かれました。私は奉職以来、  
当社に適う神社経営を頭に描き可能な  
範囲で実現に努めて参りました。年末  
年始行事、かがり火の設置、御守授与  
品の作成、青年部と共催で始めた「み  
たま祭」、それに永代命日祭等の実施が  
あります。これらは現在では不可欠の  
年間活動となっております。中には断念  
したり、頓挫した試みもありますが、  
とに角、御英霊を奉斎する御社である  
ことを念頭に置き、いかに為すことが  
御神慮に叶うことなのかを愚考して来  
ました。この基本的な考えは宮司となっ  
ても変わることなく、決裁権が自分に

存することになり、より責任が重くなっ  
たということだと思っています。  
当社の御祭神は、後々のことが気に  
掛りつつも御国の礎として散華された  
御英霊であります。後に残られた家族  
親族、戦友の方々が参拝され、ご機嫌  
よく帰っていただくことは、即ち御祭  
神の御心にも添うことの一つだと考え  
ます。その意味で、そういつた環境作  
りをするのが私共神職の役目でもあ  
る訳です。此の度の受付授与所、渡り  
廊下増築工事計画という施設面、流行  
の言葉で言えばハード面の整備と共に、  
ソフトの部分に於ても適切な配慮と対  
応が望まれるでしょう。

## 宮司プロフィール

昭和二十三年一月十五日生。  
大阪市海老江八坂神社西野捷平宮司  
次男。  
四十五年國學院大学史学科卒、翌年  
同大学神道学専攻科修了。  
四十六年兵庫県多田神社に奉職し、  
権禰宜を拝命。四十八年滋賀縣護國神  
社宮司山本浅次郎四女久子と結婚、同  
神社に奉職。同年十二月禰宜を拝命。  
平成元年神職身分二級に昇進



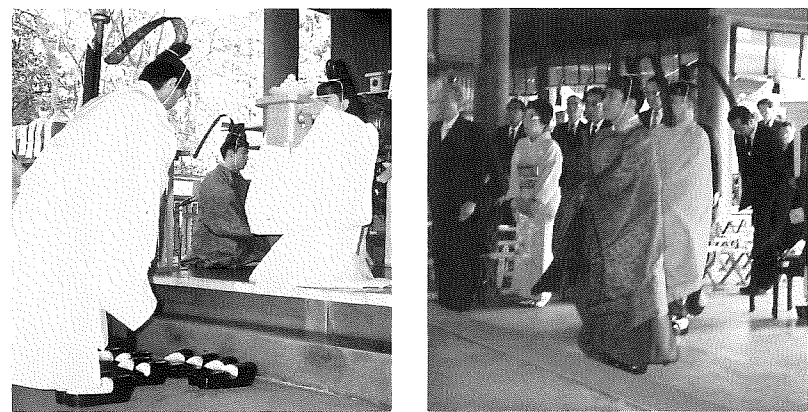
## 新職員紹介

権禰宜 増 井 孝 司  
昭和四十二年十一月十九日生。  
神宮研修所卒。六十三年より奉職。  
実家は甲賀町大鳥神社。

平成三年三月一日宮司に就任  
兼務 宮 司  
里根町日吉神社、松原町春日神社、  
大藪町神明神社  
県神道青年会理事、常任理事、事務  
局長、会長、神道青年全国協議会副会  
長、神道政治連盟青年隊、県本部副幹  
事長を経て現在幹事長。  
県神社庁教化委員、研修所訓育指導員、  
錬成行事道彦。  
その他  
少年補導員青少年指導員。城西学区  
青少年育成協議会会長。  
子供は一男二女、趣味はサツキ鉢植、  
学生時代は合気道部に所属、二段し  
かし腰痛の為今は断念し、スポーツは  
専らテレビ観戦。

# 春季例大祭

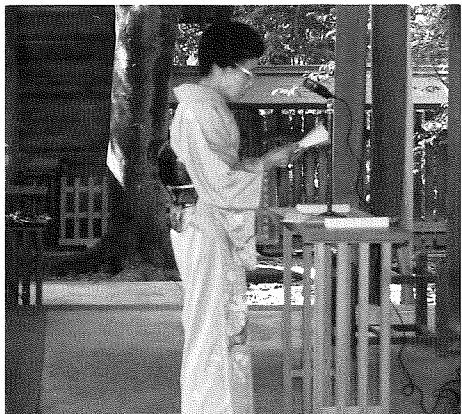
## 四月五日 齋行



三月末から寒さが戻り、大祭当日の  
天候が心配されましたが、三日の準備  
から五日まで寒さも緩み天候に恵まれ  
ました。

当日は穏やかな春の日差しの中、絶  
好のお祭り日和となり、桜の花もほこ  
ろび始めて、大勢の人々がお参拝にな  
りました。翌六日から雨天になったこ  
とを考えると、誠に御神慮の賜物と  
感謝申し上げるほかありませんでした。

奉賛会長諏訪三郎様、県遺族会長守  
田厚子様、衆議院議員宇野宗佑・山下  
元利両氏代理秘書各位始ご来賓の方々  
のご参列を得、県神社庁理事、田村神  
社宮司田村勝則様を神社本庁献幣使と  
してお迎え致しまして、ご遺族崇敬者  
多数の方々のご参列をいただき、盛会  
裡に齋行申し上げました。



祭文奏上の守田厚子県遺族会長

## 境内清掃奉仕

### 年間記録抄

(平成二年四月～三年三月)

※文中の婦人部、青壮年部は遺族  
会婦人部、遺族会青壮年部の略

平成二年	四月 二日	彦根銃剣道連盟エポー ツ少年団	十八名	三月 三日	彦根市遺族会及青壮 年部大祭後片付	約七十名
	五日	彦根市遺族会及青壮 年部大祭後片付	約七十名	十一月 二日	湖東町婦人部	二十三名
	二十七日	彦根市尾末町老人ク ラブ	十六名	十五日	愛知川町婦人部	十八名
	五月 二十六日	彦根市高宮町婦人部	八名	十一月 二日	秦荘町婦人部	十五名
	六月 十四日	多賀町婦人部	十八名	五月 五日	彦根市遺族会及青壮 年部大祭後片付	約七十名
	二十七日	愛東町婦人部	二十三名	十月 三日	彦根市遺族会及青壮 年部大祭準備	
	三十日	軍恩連婦人部	二十一名	九月 二十六日	草津市婦人部	十六名
	八月 八日	県傷痍軍人妻の会	三十九名	二十七日	八日市市婦人部	十五名
	十三日	県青壮年部	約百名	十月 三日	彦根市遺族会及青壮 年部大祭準備	
平成三年	三月 二十九日	八日市市婦人部	十七名	九月 九日	彦根市青壮年部	十二名
		雑巾奉納	草津市婦人部	十二月 三日	軍恩連婦人部	十四名
		雑巾奉納	近江八幡市武佐婦人部	九月 九日	彦根市青壮年部	十二名
				正月用材木搬入奉仕		

水銀灯奉納二題

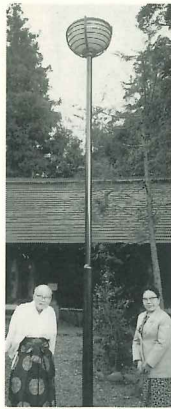
「御大典記念」

平成の御大典記念として、四百ワツト水銀灯を設置することが出来ました。御陰様で防犯上この上なく効果があり喜んで居る次第です。

昨年十二月二十三日奉納奉告祭を執り行いました。年末でもあり、高谷氏以外はご出席願えませんでした。ご協賛各位には衷心より御礼申し上げます。

御協賛者御芳名

- 野洲町 高谷みね尾様
- 名古屋市 太田鈿太郎様
- 名古屋市 太田 ツネ様
- 彦根市 北村 直重様
- 彦根市 北村三代子様



「名誉宮司 就任記念」

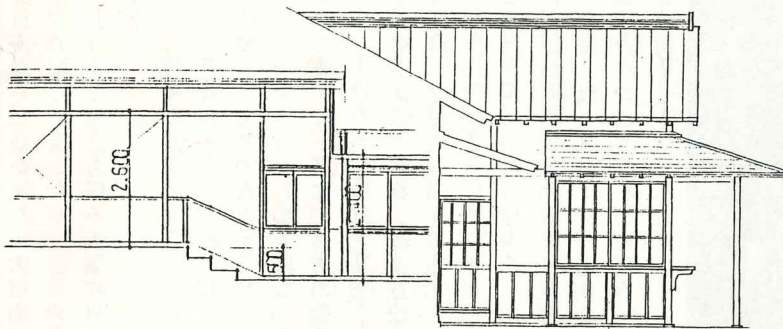
名誉宮司及宮司就任記念として、両名が奉納致しました。



増築工事決定する

社務所拝殿渡り廊下受付授与所

昨年、永代祭等で毎月一日、十五日には大勢の皆さんが参拝され、社務所でご休憩の後、拝殿から本殿へお参りいただき、終了後再び社務所へ戻られる訳ですが、この際に、その都度履き物の着脱という煩わしさが伴います。雨や雪ですとおさら大変です。これが秋からは解消されることになりました。



渡り廊下

受付授与所

この構想は以前からありましたが、財源の問題や周囲の状況の機が熟さず、見送られてきましたので、多年の念願が実現する訳で、喜びに堪えません。廻廊という程立派な物ではありませんが、段差の無い物が理想であったのですが、建物の構造上そういう訳にもいかず、その点では不満は残りませんが現状ではこれ以上の物は望めません。完成を楽しみにお待ちしております。

続々と永代命日祭ご加入

永代命日祭の申し込み制度を設けて十年余になりますが、当初は小人数で、十年間で八二件だったのに比べ、ここ三年程で八〇〇件を超えるご加入をいただきました。お世話願った婦人部長様、支部長様はじめ皆様方のご尽力に深く敬意を表する次第であります。

さて、本命日祭は前もってご案内状を発送致しますが、毎月一日、十五日に祭典を執り行い(正月、みたま祭の八月は別に定める)、名誉会員の方は適当日をご選定いただけます。当日は本殿での祭典の後、社務所に於て簡単な直会を致しますが、その際は出来る限り名誉宮司が同席させていただきます。勿論、お参りがなくても終了後特別御神符をお送りしてご報告申し上げます。詳細は社務所へお尋ね下さい。担当は増井権禰宜です。



永代祭のご参列



みたま祭献燈のお願い

御遺族、崇敬者の皆様方をはじめ諸団体、会社、商店、事業所の方々のご協賛をいただき、八月十三日～十五日、盛大に執り行うことが出来ますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- 大型献燈
- 一燈初穂料 金五千円也
- 大型記名特別献燈
- 一燈初穂料 金壹万円也